

2020 年 11 月 5 日
西日本旅客鉄道株式会社

2020 年度鉄道事故対応合同訓練の実施について

福知山線列車事故の教訓を踏まえ、列車事故発生時の併発事故の阻止、人命を最優先とする救出・救護訓練を実施しました。本訓練は、鉄道・警察・消防の各機関が共催することで、各機関の対応能力の向上及び関係機関相互の連携の強化を図ることを目的としています。

記

1. 訓練日時

2020 年 10 月 30 日（金） 午前 9 時 00 分から午前 11 時 45 分まで

2. 訓練場所

西日本旅客鉄道株式会社福知山電車区内 実設訓練センター

3. 訓練想定

2020 年 10 月 30 日（金）午前 9 時 20 分頃、山陰線：福知山～上川口駅間を走行中の、下り列車（普通列車 4 両編成、乗客 10 名）が、第一十二踏切内に進入する自動車に衝撃し停止する。車内のお客様が負傷、また自動車には人が閉じ込められていることが判明した。乗務員から運輸指令を介して関係機関（警察・消防）へ連絡。関係機関到着後、事故対応体制をとり、負傷者の救出・救護活動等にあたる。

4. 訓練項目

- （1）併発事故防止訓練
- （2）情報伝達訓練
- （3）合同指揮所設置訓練
- （4）交通規制訓練
- （5）関係機関合同の救出・救護訓練
- （6）救護所設置及び応急処置訓練





5. 訓練共催機関（順不同）及び参加人員 ＝約 105 名

- （1）京都府警察警備部機動隊 約 10 名
- （2）京都府福知山警察署 約 10 名
- （3）福知山消防署 約 20 名
- （4）丹波市消防署 約 5 名
- （5）西日本旅客鉄道株式会社 福知山支社及びグループ会社 約 60 名